

第 139 回サイエンス・カフェ札幌

「しゃっこい雪の、なまらためになる話 ー北海道の雪を科学する」を開催

【概要】

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）は、第 139 回サイエンス・カフェ札幌「しゃっこい雪の、なまらためになる話 ー北海道の雪を科学する」を開催します。気象学を専門とする佐藤陽祐さん（北海道大学大学院理学研究院准教授）に、雪の成り立ちやその成長過程、そして温暖化の影響で変わりつつある北海道の雪についてお話しいただきます。

【趣旨】

北海道の冬といえば、雪化粧をした木々とふかふかの雪景色。見慣れた光景ですが、雪の結晶を改めてじっくり観察したことはありますか？六角形の結晶をイメージするかもしれませんが、そのような形に見えるのはある条件のときだけで、実際は温度や湿度によって様々な形をしています。北海道の雪が「さらさら」な理由も、雪の結晶構造に関係しています。

今回のサイエンス・カフェ札幌では、雲や雷のしくみをスーパーコンピューターを使って研究する佐藤准教授に、雪の成り立ちやその成長過程、そして温暖化による将来の北海道の雪についてお話ししてもらいます。佐藤准教授は元々物理学出身の基礎研究者です。雲、雷、そして雪の研究を例に、基礎科学の魅力と発展性についても語ってもらいます。

本イベントでは、参加するみなさんに事前にマクロレンズをお渡しし（先着 30 名まで）、可能な方には予め降雪粒子の撮影をしてきてもらいます。身近な雪を改めて観察することで見えてくる一粒一粒の個性と美しさ。それらを会場で共有しながら、佐藤准教授のなまらためになる雪の話を楽しみましょう。日常では気づけなかった雪の奥深い世界に触れ、未来の雪について考えてみませんか？

【タイトル】 第 139 回サイエンス・カフェ札幌

「しゃっこい雪の、なまらためになる話 ー北海道の雪を科学する」

【日 程】 2025 年 2 月 10 日（月）18 時 30 分～20 時 00 分（開場：18 時 00 分）

【場 所】 札幌市民交流プラザ 2F（SCARTS モール C 区分）
（札幌市中央区北 1 条西 1 丁目）

【ゲ ス ト】 佐藤陽祐／北海道大学大学院理学研究院准教授

【聞 き 手】 大内田美沙紀／北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）特任助教

【主 催】 北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

- 【対 象】** 高校生（※高校生向けの内容ですが、高校生以外の方も参加可能）
- 【募集人数】** 30名（事前申込制）
- 【参加費】** 無料
- 【言語】** 日本語（同時通訳なし）
- 【申込方法】** 事前申込制（先着順）
- 以下のイベント詳細ページよりお申し込みください。
<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/31607>

お問い合わせ先

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター

科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP） 担当 大内田美沙紀（おおうちだみさき）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール misakiouchida@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/31607>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp



しゃっこい雪の、 なまらためになる話

- 北海道の雪を科学する

2025

2.10(月) 18:30 - 20:00 開場 18:00

札幌市民交流プラザ2F (SCARTSモールC区分)



対象：高校生
参加費：無料

定員：30人 (※事前申込制)
主催：北海道大学CoSTEP

ゲスト：佐藤 陽祐さん
北海道大学理学研究院准教授

聞き手：大内田 美沙紀
北海道大学CoSTEP特任助教



<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/31607>

北海道の冬といえば、雪化粧をした木々とふかふかの雪景色。見慣れた光景ですが、雪の結晶を改めてじっくり観察したことはありますか？六角形の結晶をイメージするかもしれませんが、そのような形に見えるのはある条件のときだけで、実際は温度や湿度によって様々な形をしています。北海道の雪が「さらさら」な理由も、雪の結晶構造に関係しています。

今回のサイエンス・カフェ札幌では、雲や雷のしくみをスーパーコンピューターを使って研究する佐藤陽祐さんに、雪の成り立ちやその成長過程、そして温暖化による将来の北海道の雪についてお話してもらいます。佐藤さんは元々物理学出身の基礎研究者です。雲、雷、そして雪の研究を例に、基礎科学の魅力と発展性についても語ってもらいます。

本イベントでは、参加するみなさんに事前にマクロレンズをお渡しし（先着30名まで）、可能な方には予め降雪粒子の撮影をしてきてもらいます。身近な雪を改めて観察することで見てくる一粒一粒の個性と美しさ。それらを会場で共有しながら、佐藤さんのなまらためになる雪の話を楽しみましょう。日常では気づけなかった雪の奥深い世界に触れ、未来の雪について考えてみませんか？

北海道大学 大学院教育推進機構
科学技術コミュニケーション教育研究部門
(CoSTEP・コーステップ)

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
email : costep_office@ml.hokudai.ac.jp
phone : 011-706-5320

<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp>
CoSTEPは科学技術の専門家と市民の橋渡しをする人材を育てる教育組織です。

